

(対象期間: 2018/4/9~4/13)

[株式市場] ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日~2018年4月13日)



[株式市場]

週初から半ばにかけては米中貿易摩擦への懸念が落ち着いたことなどを背景に、株式市場は上昇しました。週後半は利益確定売りの動きから調整局面となりましたが、週間では1.54%の上昇となりました。セクター別では鉱業、基礎産業・化学などが上昇する一方で建設・不動産などが下落しました。

2018/04/06	2018/04/13	変化率
6,175.05	6,270.33	+1.54%

[債券市場] インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日~2018年4月13日)

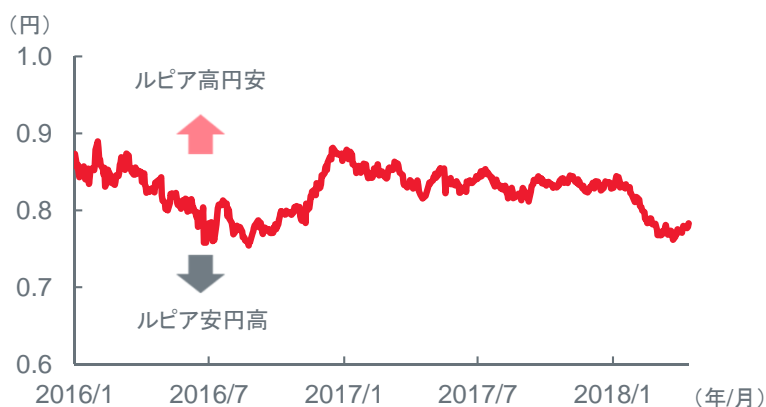


[債券市場]

週前半は米中貿易摩擦への懸念が落ち着いたことや火曜に行われた国債入札が堅調な内容となったことを受けて、国債利回りは低下(価格は上昇)しました。その後は利益確定売りの動きが見られましたが、金曜日に米国の大手格付け機関ムーディーズによる国債の信用格付けの格上げを受けて、利回りは再び低下しました。

2018/04/06	2018/04/13	変化幅
6.635	6.568	-0.067

[為替市場] インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日~2018年4月13日)



[為替市場]

週前半は米中貿易摩擦への懸念が落ち着いたことなどを背景にルピアは対米ドルで堅調となりました。その後は利益確定売りの動きなどから下落する局面もありましたが、金曜日にムーディーズによる国債の格上げを受けて、ルピアは再度上昇しました。対米ドルで円安が進行したことを受けて、ルピアは対円でも上昇しました。

2018/04/06	2018/04/13	変化率
0.780	0.783	+0.42%

100インドネシアルピアの対円レート

出所: グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開

しているブルデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。